

### 授業概要

本講義では、対人援助職（教師・相談員など）を目指す者としての資質に欠かせないカウンセリング・マインドを獲得できるよう①基本的なカウンセリングの技法を理解し実践できること、②対象となる生徒の発達段階における特性を理解すること、③その特性に応じた個別支援や集団支援の在り方を学ぶこと、を目的とし以下のシラバスに基づいて講義します。

### 授業計画

第1回	ガイダンス及び教育現場における今日的課題
第2回	教育相談ニーズと学校・教師
第3回	教育相談に活かせるカウンセリングの基本 —コミュニケーション技法—
第4回	〃 —傾聴と共感的理解— (演習)
第5回	クラス運営に活かせる構成的グループエンカウンター (演習)
第6回	思春期・青年期の特質 (生涯発達の視点から見た思春期・青年期)
第7回	思春期・青年期の課題 (自我同一性形成と対人関係)
第8回	不登校問題理解と対処法
第9回	授業崩壊問題理解と対処法 (授業外課題)
第10回	いじめ問題理解と対処法
第11回	問題行動理解と非行予防
第12回	軽度発達障害の理解と特別支援教育
第13回	学校におけるメンタルヘルスとストレス
第14回	ストレスケア—うつ病への支援—
第15回	保護者対応とネットワーク支援
第16回	筆記試験

### 到達目標

- ・授業への全出席
- ・カウンセリング・マインドを身につけること
- ・青年期特性を理解すること
- ・学んだ対処法を実践面で応用できること

### 履修上の注意

心理学概論Ⅰ・Ⅱまたは教育心理学を履修していることが望ましい。第一講義時にシラバスを持参すること。本講義はワークショップを組みながら理解を進めていくことを目的としているので積極的に臨んで下さい。教室内マナー（私語、飲食、携帯・スマホの使用、トイレ中座厳禁）違反には厳正に対処します（評価点減点）出席は毎時確認します。遅刻扱いは授業開始後30分以内までとします。

### 予習復習

講義後は、復習課題として授業で指摘された要点箇所や配布プリントを中心に、読み返しをすること。授業外課題については、速やかに作業に移ること。

### 評価方法

出席状況（2/3以上の条件を満たしていること）、課題提出状況（小テストも含む）、筆記試験の結果による総合評価。欠席が6回以上の者は筆記試験の受験資格を失います。

### テキスト

特になし。毎授業時にプリントを配布。  
参考文献については、必要に応じて授業時に紹介します。